



2018 年度

環境報告書



トップマネジメントメッセージ

メッセージ

当社はおかげさまで、2018 年度をもちまして創業 125 周年を迎えることができました。これもお客様、代理店様はじめ当社の事業活動に関係する多くの方々のご協力、ご厚情によるものと感謝し、厚く御礼申し上げます。

さて、当社の継続テーマである「食の安全安心」「自動化」に表されるように、当社は現場で顧客の課題を解決することを常に優先してきました。業績拡大に全く異なる領域へ業務を多角化するよりも、同じ市場や顧客へ真摯に対応することで、信頼の好循環を築くことができました。

お客様の業務効率化に向けた製品、環境に貢献する製品の開発を推進し、環境に配慮した資材調達につきましてもこれまでと同様に継続して実施してまいります。さらには昨今ニュースなどで取り上げられることの多い化学物質につきましても従来の管理をさらに強化に推し進め、安全に安心してご使用いただける製品の提供を行ってまいります。法令順守、リスク対策などコンプライアンス強化を推進するとともに、社員による滋賀事業所周辺の道路の清掃活動など、地域に密着した生物多様性保全活動にも取り組んでいます。

今後も地球環境にも配慮した製品をご提供すべく、気持ちを新たに邁進していきますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

品質／環境担当役員

大下 実

品質／環境方針

株式会社イシダは、「三方良し」の企業理念に基づき、次の事項において品質／環境マネジメントを行う。

- 1) 製品、サービスおよびマネジメントシステムの継続的な改善により顧客満足を高める。
- 2) 環境に貢献する製品およびサービスの提供、環境に配慮した事業活動を通じ地球環境の保全に努める。
- 3) 製品、サービスの提供および事業活動に適用される要求事項、ならびに順守義務を満たす。
- 4) 製品、サービスの提供および事業活動によって発生しうる環境汚染を予防する。また持続可能な資源の利用を促進し、生物多様性の維持および生態系の保護に努める。
- 5) 関連する部門・階層で品質／環境目標を設定し、その達成に取り組む。

この品質／環境方針は、当社のために働くすべての人に理解を促し、利害関係者にも伝える。

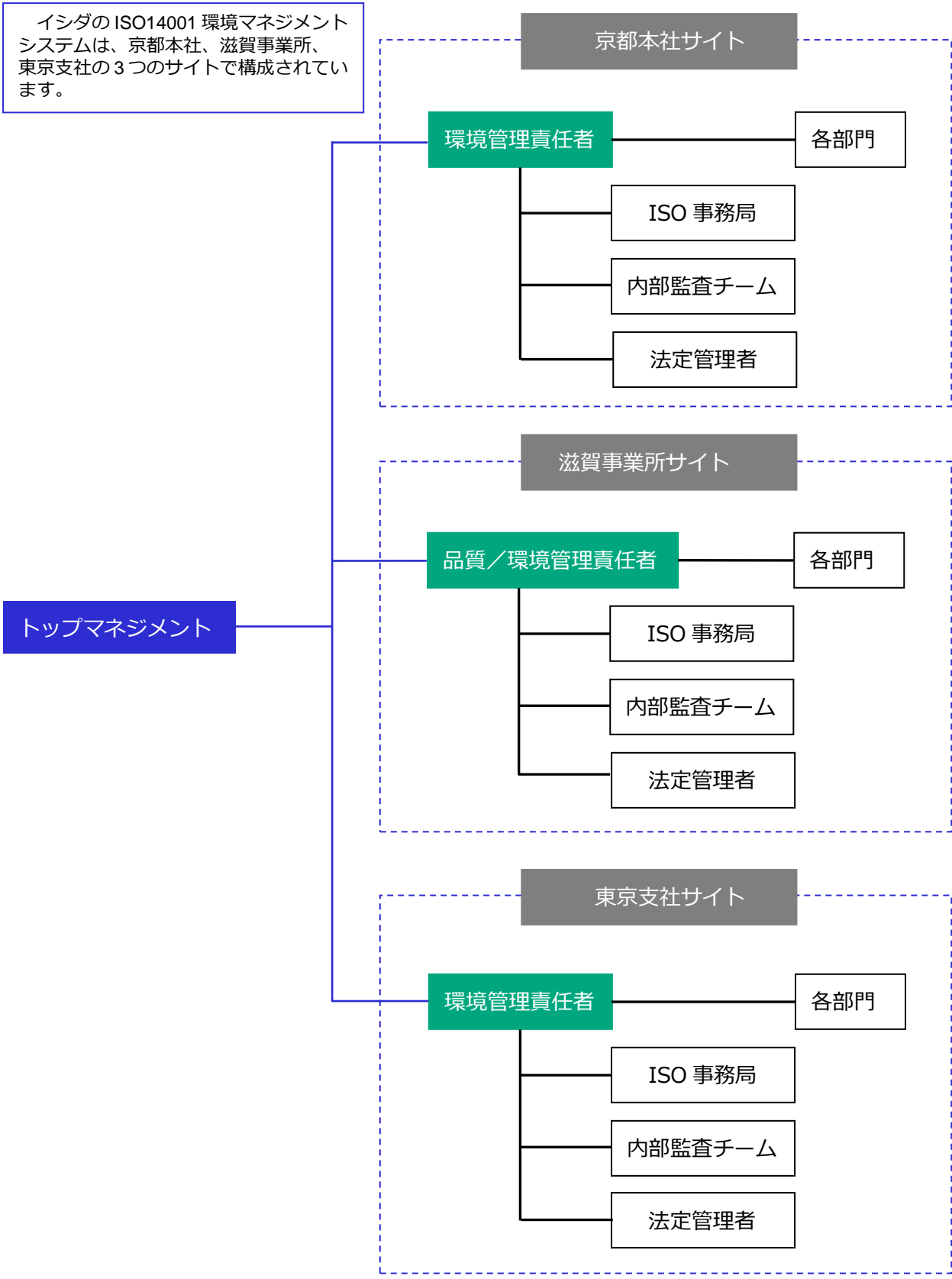
制定 2016年6月17日

改定 2017年4月27日

目次

トップマネジメントメッセージ	1
品質／環境方針	2
1. マネジメントシステム体制	4
2. 全社エネルギー管理状況	5
3. 2017年度 環境目標と実績	6
1) 京都本社	6
2) 滋賀事業所	9
3) 東京支社	13
4. イシダ環境活動への取り組み～これまでの経緯	16
5. 株式会社 イシダ 概要	17

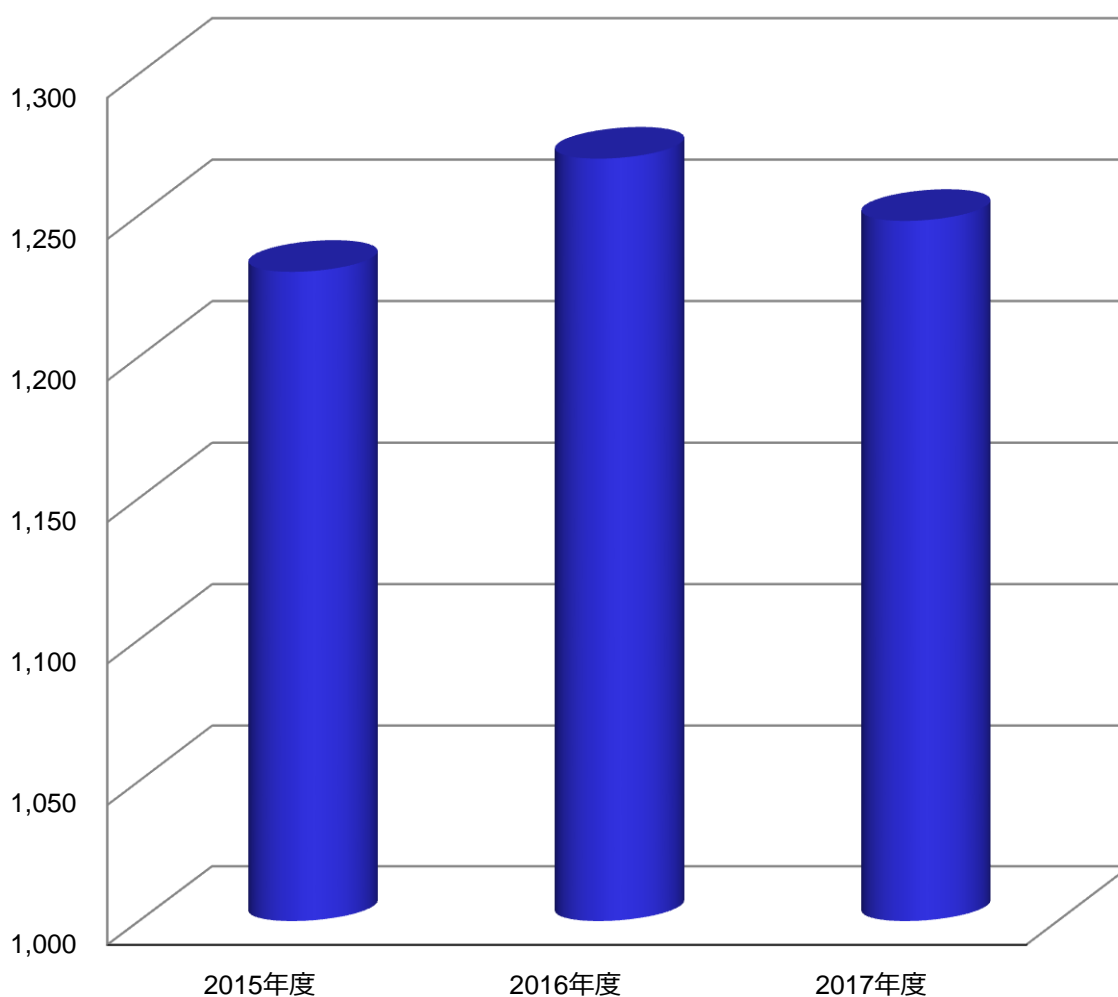
1. マネジメントシステム体制



2. 全社エネルギー管理状況

当社は、全社的な省エネ活動を推進するため、国内の営業所、サービス拠点を含む全事業所のエネルギー使用量を毎月集計し、年間目標の達成に役立てています。

空調設備による電力使用の比率が高いためにその年の寒暖など気候の影響を受けるものの、ひとりひとりの省エネ意識の定着と、不要照明の消灯や空調の設備温度の適正化などの確実な省エネ行動により全体的なエネルギー使用量は管理された状況にあります。また、2017年度の目標値である1309.9 kL 以下に対し実績は1248.3 kL となりました。今後もこれらの活動を継続し適切なエネルギー使用に努めることで、地球環境の保全に取り組んでいきます。



全社のエネルギー使用量（原油換算 縦軸：kL）

3. 2017年度 環境目標と実績

京都本社

環境目標の概要表

重点課題	環境目標 (2017年度)	結果 (達成率)
環境貢献製品の提供	1) 環境貢献製品の企画 ・企画、提案件数 2) 環境貢献製品の販売促進 ・販売台数	1) 350%  2) 120% 
省エネルギー・省資源	1) エネルギー使用量の適正管理 【監視項目】 ・エネルギー使用量 90 kL 以下（原油換算） 2) 「5S」徹底による業務効率化 ・「本社 5S 共通徹底テーマ」 の達成率 90%以上 ・各月強化テーマ 100%達成 3回以上	1) 104.5%  2) 96.6% 
環境負荷物質の削減	1) 廃棄物排出の抑止【監視項目】 ・OA 用紙購入量の削減 ⇒2013~2015 年度平均購入量 を維持 2) マニフェストの適正管理 3) 「産廃・3R 等優良事業場」 認定継続	1) 115.5%  2) 100% 3) - 

環境貢献製品の提供

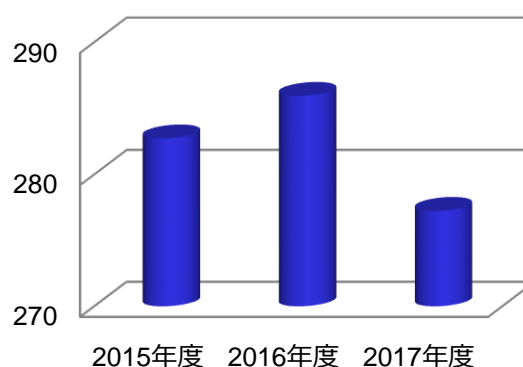
本社の営業部門では、台紙レスの値付け機などの環境貢献製品の提供を環境目標に設定し、取り組んでいます。2017年度は環境貢献製品の企画販売件数において、目標に掲げた年間2件に対し、7件の対象機種種の販売を開始することができました。販売台数においても予定以上の成果を出すことができました。

これら機種を導入したことにより削減されたシール台紙の廃棄量を試算し、これまで以上に高く意識をもって活動に取り組めるように検討して参ります。



電気使用量の削減

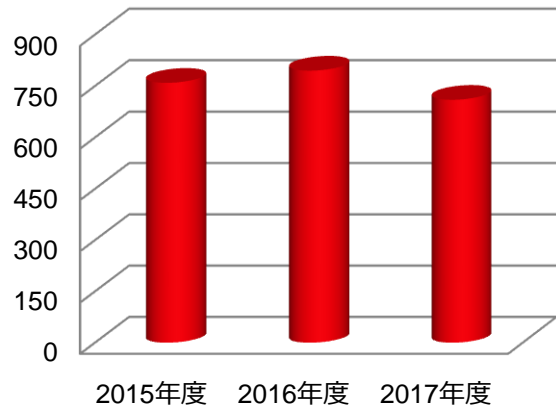
前年度対比で7%削減することができました。2016年度は猛暑と寒波による気温の変化が要因で電力量が微増しておりましたが、2017年度は2015年度と比較しても削減となり、日常の省エネ活動（部門毎に不要照明の消灯や空調温度の管理・スーパークールビズ等）が浸透してきたと考えております。古い空調機の入替えによる効果もあったと思われ、省エネの観点からも古い照明・空調機器等の設備面での削減を引き続き計画的に検討して参ります。



電気使用量（縦軸：MWh）

■ 廃棄物（OA用紙購入量）の削減

2017年度は「2013～2015年度平均購入量（約820千枚）を維持」という目標に対し、13.4%削減することができました。2016年度と比べても85000枚と大幅削減できたのは、海外産機部門にて、社内での関連部署への受注内容の伝達に電子文書（ドキュワークス）を活用し、大きくペーパーレス化を実現したことによるものです。このような取り組みを今後も継続し、用紙削減を推進して参ります。



京都本社 環境管理責任者コメント

京都本社は、営業・スタッフ部門が中心の拠点で、「環境貢献製品の販売促進」や「省エネ・省資源（エネルギー使用量の適正管理と5S徹底）」を主な環境目標の項目に挙げ、日々環境活動に取り組んでおります。

2018年度も働き方改革を行い、仕事のやり方を再検討することで、生産性を向上させ、業務品質の向上へ繋げる活動を行って参ります。業務のペーパーレス化を加速させるとともに電力削減へも取り組んで参ります。また5Sについては、改めて社員全員が意識して取り組む啓発活動を行い、全社において、業務効率向上に取り組んで参ります。本年度も本来の事業活動と一体化した環境マネジメントに取り組み、企業として、また社会的責任の1つとして環境保全に貢献・寄与できるよう社員一丸となって日々取り組んで参ります。

本社環境管理責任者 岩崎 佳生

滋賀事業所

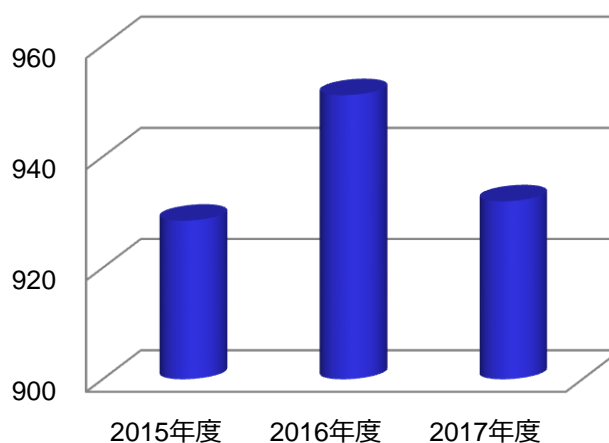
環境目標の概要表

重点課題	環境目標 (2017 年度)	結果 (達成率)
環境貢献製品の提供	1) 環境貢献製品の開発・ 環境貢献製品を 8 機種以上 製品化完了	1) 100% 
省エネルギー・省資源	1) エネルギー使用量の適理・エネルギー使用量 982.9 kL 以下 (原油換算)	1) 105.5% 
環境負荷物質の削減	1) RoHS II 適合機種 of 拡大 ・ RoHS II 適合部品拡大 管理体制の強化 2) 廃棄物排出の抑止 ・ 廃棄物原単位 4.60 kg/100 万円以下 (原単位 = 廃棄物量/内作生産金額)	1) 継続  2) 92.7% 

■ エネルギー使用量の推移

2017年度は、目標使用量 982.9 kL 以下に対し、実績 932 kL となりました。社員の省エネに対する取り組みや、デマンドコントロール装置での監視、テクノビルの LED 照明導入により目標を達成することができました。

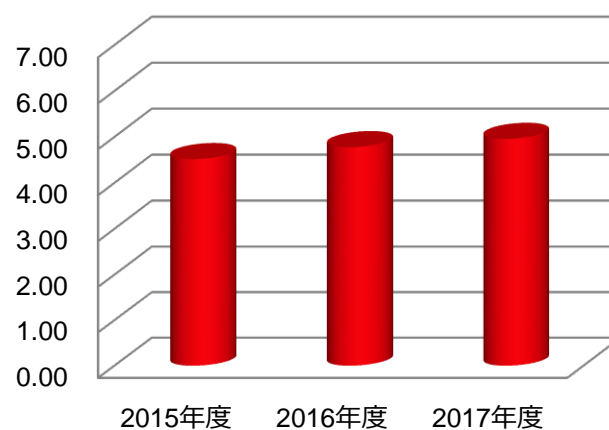
2018年度も監視を継続し、社員の省エネに対する取組や無駄の出ないよう種々の施策を実施してまいります。



エネルギー使用量（原油換算 縦軸：kL）

■ 廃棄物の削減

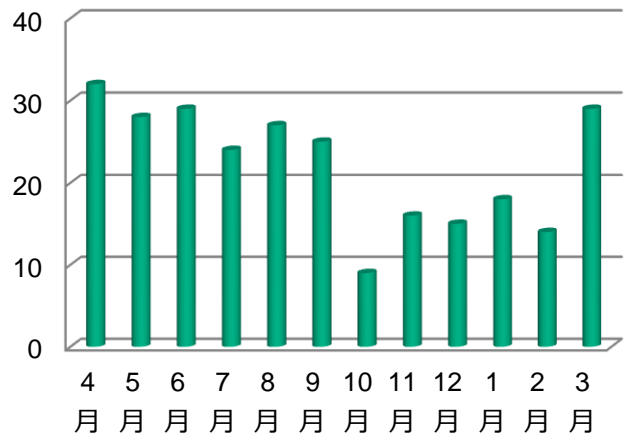
滋賀事業所では、廃棄物の排出量の管理・削減のために「廃棄物原単位」という指標を定め、活用しています。「廃棄物原単位」とは、内作生産金額（滋賀事業所内で生産した製品の売り上げ）100万円当たりの滋賀事業所での廃棄物の排出量から算出されます。結果的に廃棄物原単位は「4.96 kg/100万円」となり、2017年度の管理値である「4.60 kg/100万円」を生産場所移設（D棟）や新製品の工場出荷検査による廃棄物が増加した為、管理値を達成できませんでした。



廃棄物原単位（軸：kg/100万円）

■ エコフォスター活動

「淡海エコフォスター制度」に基づく環境美化活動として、2004年から毎月1回、滋賀事業所周辺の道路の清掃活動を行っています。夏季は午後5時30分から、冬季は午前8時から30分程度活動しています。2017年度は無事すべての月に開催することができ、のべ266名が参加し、約27kgのごみを収集しました。



エコフォスター参加者（縦軸：人数）

■ 環境学習事業への協力

イシダでは、京都商工会議所 環境対策特別委員会が主催する「小学生への環境学習事業」に協力し、毎年、女性社員が主体となり、京都市の小学校で環境出前授業を行っています。

2017年度は、12月5日に京都市立池田小学校で「はかるの世界から環境を考えよう」のテーマにて授業を行いました。



環境学習事業の風景

滋賀事業所 品質／環境管理責任者コメント

2017年度 滋賀事業所の環境目標につきまして、環境貢献製品の提供では、8機種の製品化を完了いたしました。ご協力いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

省資源・省エネルギーでは、目標を982.9kL以下（原油換算）としておりましたが、結果として932kLと目標達成することが出来ました。これも、デマンドコントロールや見える化の継続的な活動を行ってきた結果と考えております。

環境負荷物質の削減では、製品のRoHS対応後、システム運用を開始してRoHS対応した製品出荷を続けております。また、2019年に控える追加4物質の規制に対しても、取組先様や関係部署と連携して取り組んで参ります。

最後にISO14001の認証ですが、昨年6月にISO9001とISO14001の統合移行審査を受審し認証をいただき、改めて品質・環境の統合マネジメントシステムの質の向上を目指して、日々改善に取り組んで参ります。

滋賀事業所 品質／環境管理責任者 井上 昇

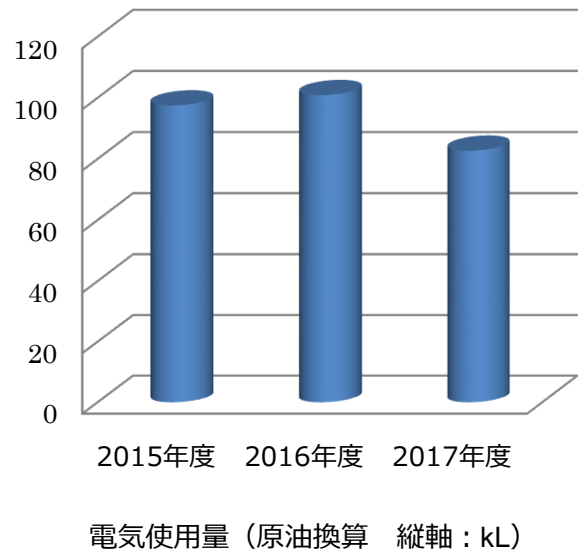
東京支社

環境目標の概要表

重点課題	環境目標 (2017年度)	結果 (達成率)
環境貢献製品の提供	1) 環境貢献製品の提供 ・環境貢献製品を含む売上目標 243億1,000万円	1) 103% 
	2) 環境貢献製品の開発支援 ・タブレットを利用した ペーパーレスピッキング システムの開発支援	2) 100% 
省エネルギー・省資源	1) エネルギー使用量の適正管理 【監視項目】 ・原油換算エネルギー使用量 東京支社 106.7kL以下	1) 129% 
環境負荷物質の削減	1) 廃棄物排出の抑止 【監視項目】 ・OA用紙購入量の維持 年間購入量 9m ³ 以下	1) 130.8% 
	2) 廃棄物処理の順法確保 ・順法処分 100%	2) 100% 

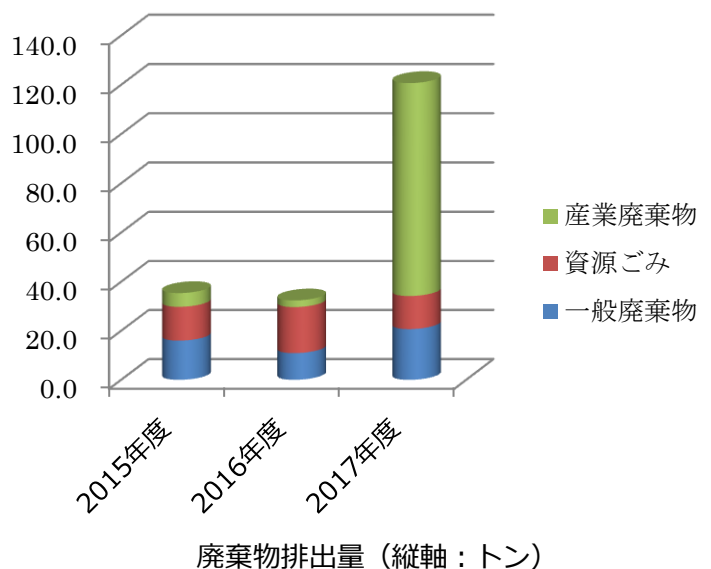
■ 電気使用量の推移

2016年度の100.9 kLから82.7 kLと18%の使用量減、目標の106.7 kLに対し、77.5%と目標達成しました。大きく目標達成した要因としては、東京支社の建替えに伴う事務所仮移転により、設備の新しい事務所へ移転したことや、テナント入居のため、共有部電力負担が無くなったことが考えられます。仮移転期間中の電力使用量は年間通してどのくらいになるかの予測が難しい状況ですが、引き続きエコ活動を推進して参ります。



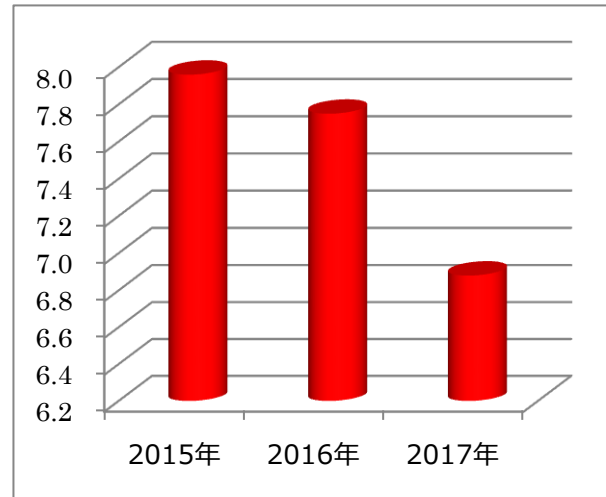
■ 廃棄物排出量の削減

廃棄物排出量については、東京支社の建替えに伴う仮移転先への引越しにより、大量の一般、産業廃棄物が排出されたため、2016年度より大幅増加しております。社屋の建替えというイレギュラーなイベントによる一時的な増加との認識であり、是正処置はいたしません。仮移転先が3拠点、東京支社としての拠点数が4拠点となったため、廃棄物の順法処理については管理部門として適正な管理を実施して参ります。



OA 用紙購入量の削減

OA 用紙購入量については、昨年対比で 11.2% 削減、対目標 9 m³に対し、6.88 m³ (86.1%) と目標達成しております。要因としては、ドキュワークスを活用したペーパーレス化の推進や、業務のワークフロー化等が考えられ、2011 年の統計開始から OA 用紙購入量は最も少ない年度となりました。ペーパーレス化や業務ワークフロー化は広く展開しており、今後購入量の削減が難しくなってきますが、今期の購入量レベルで維持できるよう、ペーパーレス化以外にも裏紙の活用等を実施し、目標達成に努めます。



OA 用紙購入量 (縦軸 : m³)

東京支社 環境管理責任者コメント

2017 年度は環境貢献製品販売・導入支援目標、OA 用紙購入量およびエネルギー使用量、と全ての項目で目標達成することができましたが、東京支社建替えに伴い、12 月から仮移転先 3 拠点と板橋第二ビルの 4 拠点に分散したことにより、電力使用量や廃棄物排出量について例年とは適切な比較ができない状況となっています。年間を通して仮移転先での数値がどのように推移するかが不明確ですが、2018 年度は例年の目標および 12 月からの数値を参考に目標の立案をするとともに、進捗状況に応じて適宜是正処置を行いながら目標達成に向け活動して参ります。

仮移転期間中は環境管理責任者（総務）の目が届きにくくなりますが、廃棄物適正管理やエコ活動等をより推進するため、監視強化するとともに各移転先の管理部門も巻き込みながら活動し、目標達成することで環境に貢献していく所存です。

東京支社 環境管理責任者 増田 博行

4. イシダ環境活動への取り組み～これまでの経緯

- 2004年 滋賀事業所 ISO14001 認証取得
イシダ・エコフォスター活動を開始
- 2005年 京都商工会議所 「小学生への環境学習事業」に協力開始
- 2006年 「びっくりエコ100選」に参加、展示
滋賀県家庭教育協力企業協定、締結
- 2007年 京都議定書ウォーキングパレードに参加
- 2008年 滋賀県教育委員会 「学校支援メニュー」に登録
- 2009年 京都本社、東京支社 ISO14001 認証取得
経済産業省委託事業 サプライチェーン省資源化連携促進事業に参加
- 2010年 ノントレー包装機 NTP-UNI ロハス大賞（モノ部門）受賞
京都 CO₂削減バンク エコポイントモデル事業に参加
- 2011年 滋賀事業所 5棟にLED照明を導入
- 2012年 京都本社 ごみ減量・3R 優良事業者 認証取得
- 2013年 滋賀事業所 公益社団法人滋賀県環境保全協会 優良事業所表彰
- 2014年 京都市教育委員会 小学生への環境学習事業 感謝状受納
- 2015年 滋賀事業所 A棟竣工 グランドオープン
- 2016年 滋賀事業所 テクノビル LED照明の導入が完了
- 2017年 ISO14001:2015 版移行

5. 株式会社イシダ 概要

事業概要：生産、物流、流通分野における計量・包装・検査システム機器の製造・販売

創業：1893年5月23日

会社設立：1948年10月26日

資本金：9,963万円

連結売上高：1,186億円（イシダ単体売上高 858.46億円 2018年3月決算）

グループ従業員数：3,564名（イシダ単体従業員数 1,473名 2018年6月21日時点）

各事業所所在地：本社 〒606-8392 京都市左京区聖護院山王町44番地

TEL.(075)771-4141(代) FAX.(075)751-0747

滋賀事業所 〒520-3026 滋賀県栗東市下鉤959番地の1

TEL.(077)553-4141(代) FAX.(077)551-0350

東京支社 〒173-0004 東京都板橋区板橋1丁目52番1号

TEL.(03)3964-6111(代) FAX.(03)3962-6299

発行：株式会社イシダ 滋賀事業所

規格・環境管理室

TEL (077) 551-0191

FAX (077) 551-0353